

豊かな心の育成

1 認め合い、支え合う集団づくり

- ◆学校「いじめ防止基本方針」に基づき、未然防止と適切な対応に努める。
- ◆家庭や関係機関との連携による情報モラル教育の充実を図る。
- ◆子ども主体の特別活動を意図的・計画的に推進する。
評価◇学校「いじめ防止基本方針」を児童生徒、家庭、地域と共有した学校が90%以上
◇特別活動の推進やhyper-QUの活用により、集団づくり、個への支援に取り組んだ学校が90%以上

2 道徳科授業の質の向上

- ◆読み物教材で登場人物への自我関与中心の学習を取り入れる。
- ◆問題解決的な学習を取り入れる。
- ◆道徳的行動に関する体験的な学習を取り入れる。
評価◇3つの指導法を取り入れた授業を行った学校が90%以上
◇指導方法の研修を1回以上実施した学校が80%以上

3 人権尊重の精神と実践的な態度の育成

- ◆副読本「生きる」の活用等により、部落問題学習を中核にした同和教育を進める。
- ◆児童生徒の権利主体を育てる人権教育を進める。
- ◆人権教育強調週間等において、家庭や地域との連携を図る。
評価◇全学級で「生きる」の活用が2回以上の学校が90%以上
◇「子どもの権利条約」に関わる授業を行った学校が90%以上
◇子どもの学ぶ姿を、家庭や地域に発信した学校が90%以上

キャリア教育の推進

自分らしい生き方を、ふるさと糸魚川から学び、実現させる力の育成

- ◆キャリア教育の視点で日々の教育活動を見直し、充実させるとともに、「夢創造、ナビゲーション月間」の取組等を通して、自分の将来を主体的に考える力を育てる。
- ◆「夢ナビカルテ」「キャリア・パスポート」等を用いた自己をみつめる活動と、中学校区における幼保小中の連携を考慮した活動を行う。
- ◆学校と家庭・地域・事業所との連携を図り、地域参画型のキャリア教育を進める。
- ◆「キャリアフェスティバルいといがわ」と自校のカリキュラムとの関連付けを図る。(中学校)



確かな学力の育成

学力向上いといがわプラン ～「主体的に学び続ける力」の育成～

1 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善

- ◆「授業改善5つのポイント」に基づく授業改善を全校体制で行う。
- ◆ICTを活用した個別最適化された学習、協働学習による授業改善を進める。
評価◇「授業改善5つのポイント」を活用して授業改善をしている学校が100%
◇全国学力・学習状況調査及び標準学力検査(NRT)の結果が、全国平均を上回る。

2 基礎学力の定着と集中力の向上

- ◆幼児期からの読み聞かせ等の読書活動を充実する。
- ◆小学校は、朝の「音読・ます計算・漢字学習」を行う。
- ◆中学校は、各校の教科部で目標数値を設定し、基礎学力テストを行う。
評価◇基礎学力テストの目標が達成できた学校が80%以上

3 確実な学習習慣づくり

- ◆家庭学習の計画づくり、授業と関連する課題(予習・復習等)を工夫する等、中学校区で連携して家庭学習について指導する。
- ◆望ましい生活リズム(電子メディアの使い方や食事・睡眠時間等)の定着を推進し、家庭学習時間を確保する。
評価◇家庭学習時間が達成できた学校が75%以上

ジオパーク学習の推進

ふるさと糸魚川への愛着や誇りの形成と持続可能な発展につながる資質・能力の育成

1 体系だったジオパーク学習の推進

- ◆現地学習等を企画し、各エリアのよさを体験できる活動を充実させる。
- ◆ジオパークに関する資料*を積極的に活用する。
- ◆発達段階に応じたジオパーク学習を指導計画に位置付け、体験的・探究的な学習を押し進める。

* 理科教育や安全・防災教育、SDGs(環境分野等)と積極的に関連させ、横断的に推進する。

* 「ピックアップ授業プラン」「まるごと糸魚川資料集」「小学校理科副読本」「境界のまち糸魚川」「ジオパーク巡検案内書」「ジオパークのことがわかる本」「糸魚川世界ジオパーク石のことがわかる本」「糸魚川世界ジオパークガイドブック」「のびゆく糸魚川(社会科副読本)」など多数

2 地域や家庭との連携の充実

- ◆フォッサマグナムミュージアムや歴史民俗資料館等の施設を積極的に活用する。
- ◆学芸員やジオパークガイド等の「地域人材」を有効活用する。
- ◆ジオパーク学習交流会や学習発表会等で学びを発信したり、親子で体験する活動を実施したりする。

親子支援・乳児保育・幼児教育の充実

※ 市では3歳までの愛着形成やしつけを土台とした乳児保育・幼児教育を重視しています。

1 健康なこころと体づくり

- ◆愛着形成の重要性を家庭と共有する。
- ◆自己肯定感を育む子育てを推進する。
- ◆園と家庭、保健師等の関係機関と連携し、一人ひとりに応じた子育ての支援に努める。
- ◆基本的な生活習慣づくりとメディアコントロールを推進し、園・家庭・地域で取り組む。(「早寝早起きおいしい朝ごはん」の実践)

2 よりよく生きるための基礎づくり

- ◆乳幼児が興味・関心をもち、自ら活動する環境づくりに努める。
- ◆遊びや生活を通して、一人ひとりに応じた援助や総合的な発達を促す保育の充実に努める。
- ◆多様な体験を通して、豊かな感性や道徳性、人と関わる力を育てる。

健やかな体の育成

1 望ましい生活リズムの習慣づくり

- ◆家庭や園児・児童生徒に対して、「早寝早起きおいしい朝ごはん」の啓発を行い、連携して取り組む。

評価◇家庭や園児・児童生徒に対して、早寝早起きなどの望ましい生活リズムについて啓発し連携を行った園・学校が80%以上

◇家庭や園児・児童生徒に対して「朝食は3品以上食べる」など食育の推進・啓発し連携を図った園・学校が80%以上

2 健康でたくましい体づくり

- ◆幼稚園・保育園では、運動遊び、「じゃれつき遊び」を継続的に実践する。
- ◆学校では、児童生徒が主体的・継続的に運動に取り組むことができるよう、体力テストの結果を基にした授業改善等を行う。

評価◇運動遊び、「じゃれつき遊び」を実践した幼稚園・保育園が80%以上

◇体力テストの結果を基に授業改善等を実施した学校が90%以上

3 電子メディアとの適切な付き合い方

- ◆家庭や園児・児童生徒に対して、自律的な電子メディアの利活用について啓発を行い、連携して取り組む。

評価◇家庭や園児・児童生徒に対して、ルール作りなどの啓発を行い、自律的な電子メディアの利活用ができるよう取り組んだ園・学校が80%以上

特別支援教育の充実

1 園・学校全体で取り組む体制づくり

- ◆子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、園・学校全体で適切な指導及び必要な支援を行う。
- ◆教職員の特別支援教育に対する理解や知識を深め、支援や指導方法を共有して学校全体で対応する。

2 インクルーシブ教育システムの推進

- ◆基礎的環境の整備と共に、必要とされる合理的配慮を提供し、誰もが分かりやすい授業の改善・工夫を図る。
- ◆各学校、学級間で連携しながら、交流及び共同学習を継続的に実施する。

3 途切れない支援の推進

- ◆早期から教育相談や就学相談を行い、個別の教育支援計画や指導計画、「相談支援ファイル」等の活用を通して、必要な指導や支援を確実に引き継ぐ。
- ◆教育委員会や発達支援センター及び特別支援学校(センター的機能)、通級指導教室等の関係機関との連携を進め、支援方法の共有及び改善を図る。



「わがいといがわ」教育の特色

糸魚川市子ども一貫教育

0歳から18歳までの
学びのステップ
ひとみかがやく 日本一のこども

自立する18歳

糸魚川を知り、大切に思う子
自分らしさを知り、表現する子

16歳～18歳

地域を学び
自分を見つめ
地域に発信する



高等学校 地域との連携・協働による
特色ある教育、人材育成、
探究学習、企業見学

家庭 大人として関わり、互いに夢を語りましょう
地域 課題探究活動やインターンシップへの協力をしましょう

13歳～15歳

地域で生きる
大人と関わり
自分を見つめる

中学校 3学年：キャリアフェスティバルいといがわ
2学年：職場体験(5日間)
1学年：職業講話
全学年：ジオパーク学習



家庭 子どもが進んで交流し、地域社会へ主体的に参画できる場を与えましょう
地域

7歳～12歳

仲間と触れ合い
地域に飛び出し
共に学び・感じる

小学校 5・6年：自然体験・宿泊体験
3・4年：糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会
1～6年：徹底反復による基礎学力の定着
キャリア教育・ジオパーク学習



0歳～6歳

身近な大人・友達・自然と
関わるよさを味わう

保育・ 年長児：年長児交流会

幼稚園 全年齢：ジオパーク学習、キャリア教育、生活リズム

家庭 話しかけたり、触れあったり、体をつかって
地域 一緒に遊んだりしましょう



糸魚川市で生まれ育つ全ての子どもがこのステップをのぼります。のぼり方やスピード、のぼった時の気持ちは、一人ひとり違いますが、みんな大切な「わがいといがわ」の子どもです。家庭、地域、園・学校が連携し、協働していきましょう。

令和5年4月 糸魚川市教育委員会事務局こども教育課



令和5年度 糸魚川市子ども教育 実践上の努力点

＜第3次糸魚川市総合計画より＞

郷土愛にあふれ 夢をかなえる人づくり

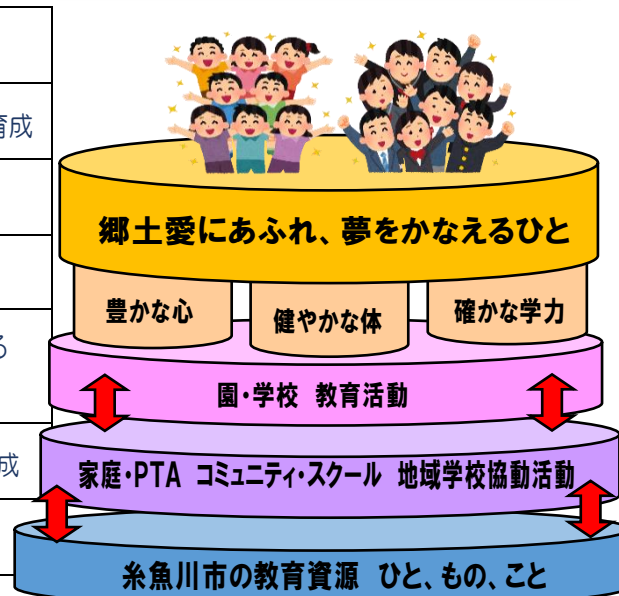
＜糸魚川市子ども一貫教育方針の基本理念＞

- 心・健康・学力のバランスのとれた子どもを育てます
- 一人ひとりの個性を生かしてその能力を伸ばし、子どもの夢を育てます
- ふるさと糸魚川をよく知り、郷土を愛する子どもを育てます
- 家庭、地域、園・学校が力を合わせて糸魚川の子どもを育てます

3つの柱と3つの重要な教育活動

	項目	目指す方向（育てたい力や支援体制）
3つの柱	豊かな心	自己肯定感があり、道徳性や社会性をもつ子どもの育成
	健やかな体	健康を自己管理できる力の育成
	確かな学力	主体的に学び続ける力の育成
重要な教育活動	キャリア教育	自分への自信（自己肯定感）と、糸魚川への愛着を高める子どもの育成
	ジオパーク学習	体験、学習活動を通じた、ふるさと糸魚川への愛着の形成
	特別支援教育	自立と社会参加を目指した、とぎれない支援の推進
親子支援・乳児保育・幼児教育の充実		

基本的構成 ＜地域ぐるみの教育＞



糸魚川市子ども一貫教育の推進のために園・学校で行うこと

- ◎糸魚川市子ども一貫教育基本方針に基づいて、教育課程を編成・実施します。
 - 幼・保、小、中、高の連携を大切にします。
- ◎ふるさと糸魚川に誇りと愛着をもつ子どもを育てます。
 - ふるさと糸魚川の「ひと・もの・こと」を活用します。
 - コミュニティ・スクールや地域学校協働活動で地域ぐるみの教育を行います。